

サノヤスホールディングス

「自立・自律」で大変化・大競争時代を勝ち抜く

個人投資家様向け会社説明会

2014年7月15日



サノヤスホールディングス株式会社

— 本資料には、将来見通しに関する記述が含まれています。最終ページに注意事項を記載しています。 —



商号	サノヤスホールディングス株式会社
設立	2011年10月3日
資本金	25億3,800万円
連結従業員数	1,553名
本社所在地	大阪市北区中之島三丁目3番23号
上場市場	東京証券取引所第1部 (銘柄コード：7022)
2013年度 連結売上高	466億9,600万円

2013年度事業別連結売上高





1911年 4月	佐野安造船所 創業（大阪市南区木津川）
1940年 6月	佐野安船渠株式会社 設立（資本金150万円）
1967年 6月	大阪証券取引所市場第2部上場
1973年 4月	資本金14億3,000万円に増資
1974年 1月	水島造船所操業開始
1974年 2月	大阪証券取引所市場第1部上場
1984年 8月	「株式会社サノヤス」に社名変更
1990年10月	株式会社サノヤスと菱野金属工業株式会社が合併
1991年 4月	株式会社サノヤスと明昌特殊産業株式会社が合併 「株式会社サノヤス・ヒシノ明昌」に社名変更
2005年 4月	東京テクノセンター新設
2007年 3月	資本金25億3,800万円に増資



2011年 4月	創業100周年
2011年10月	単独株式移転により持株会社 サノヤスホールディングス株式会社設立
2012年 1月	持株会社 サノヤスホールディングスと事業会社による新組織体制をスタート
2013年 7月	東京証券取引所第1部上場



100周年記念の人文字



■ コミュニケーションネーム「Sanoyas」



■ シンボルマーク

2011年4月、創業100周年を機に、コミュニケーションネームとして「Sanoyas」を設定するとともに、シンボルマーク（社章）を新たにいたしました。コミュニケーションネームを中央に配したシンボルマークは、メタリックシルバーとマリンブルーの二つの卵形で構成され、サノヤスグループの業態と企業理念をシンプルに表現しています。金属的な質感のメタリックシルバーは技術力を、マリンブルーは海を表し、二つに重なった卵形は二つの事業、船舶部門と陸上部門を表しています。生命の誕生を象徴する卵型は“まごころこめて生きた船を造る”というサノヤスの原点であるものづくりに懸ける理念を形にしたものであり、また少し頭を持ち上げたしなやかなフォルムは、絶え間なく変化する時代に柔軟に対応し、未来へ飛躍しようというサノヤスの願いが込められています。



人々に遊空間を提供

サノヤスの原点

Shipbuilding & Engineering Group



造船
グループ



Sanoyas

Leisure Business Group



レジャー
グループ

サービス
事業
グループ



Service Business Group

陸上
グループ



Industrial Machinery Group

特徴あるモノづくり
で産業を支える

あらゆる顧客の
ニーズに応える



4事業領域17社で構成



造船グループ

サノヤス造船株式会社

陸上グループ

サノヤス建機株式会社

サノヤス・エンジニアリング株式会社

加藤精機株式会社

みづほ工業株式会社 ———— 美之賀機械(無錫)有限公司

ケーエス・サノヤス株式会社

山田工業株式会社

レジャーグループ

サノヤス・ライド株式会社

サノヤス・ライドサービス株式会社

サノヤス・ライド(オーストラリア)

メルボルンスターマネジメント

サービス事業グループ

株式会社サノテック

サノヤス商事株式会社

サノヤス安全警備株式会社

サノヤス産業株式会社

サノヤス建物株式会社



サノヤスホールディングス株式会社



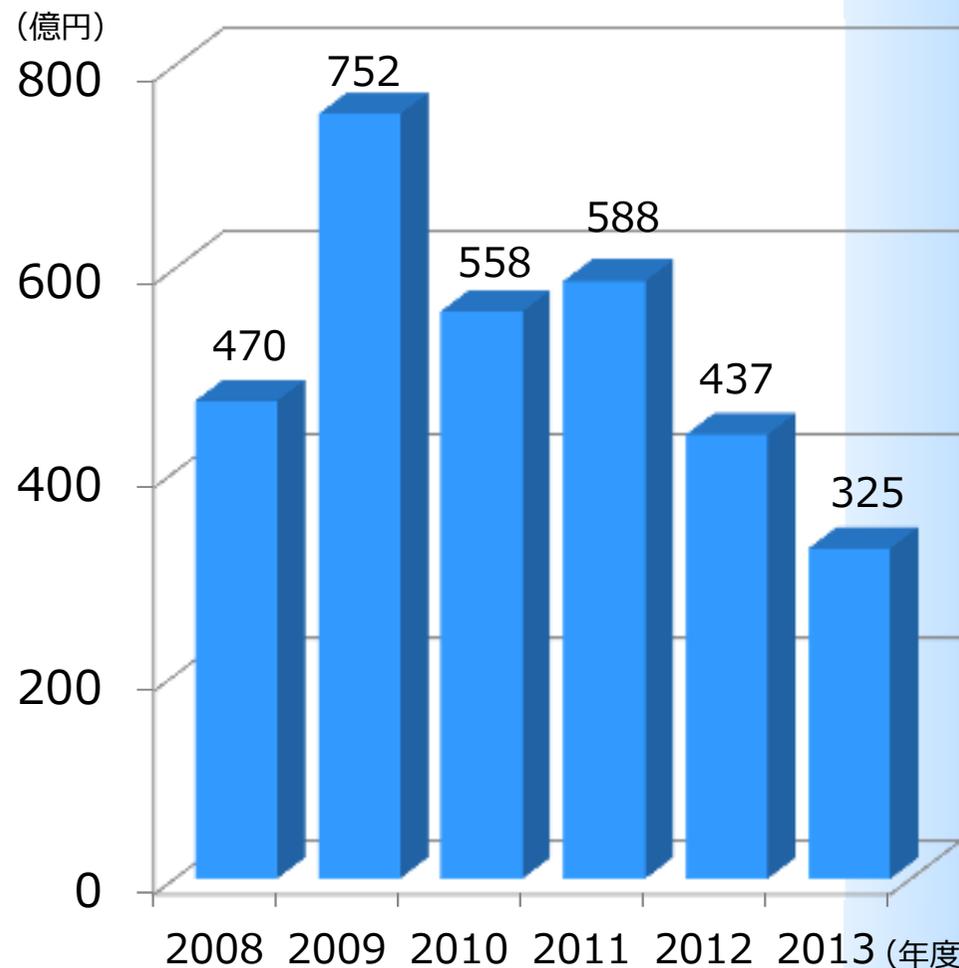
事業内容

- 造船業（新造船、修繕船）
- プラント事業（食品タンク、自走式駐車場）



120千トン型ハンディーケープ・バルクキャリアー

売上高推移





83千重量トン型
パナマックス・バルクキャリアー



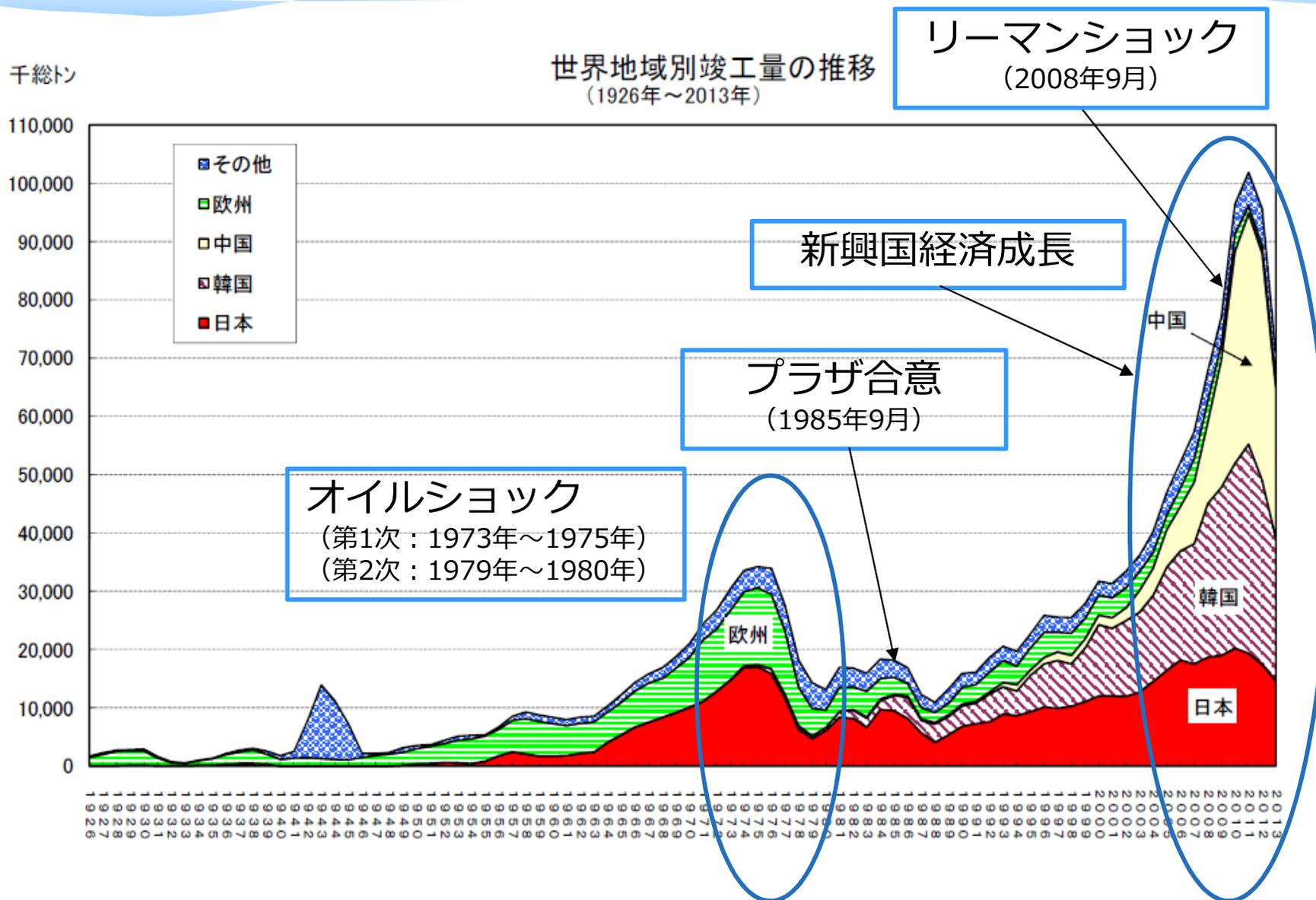
82千重量トン型
パナマックス・バルクキャリアー



水島製造所全景

水島コンビナート





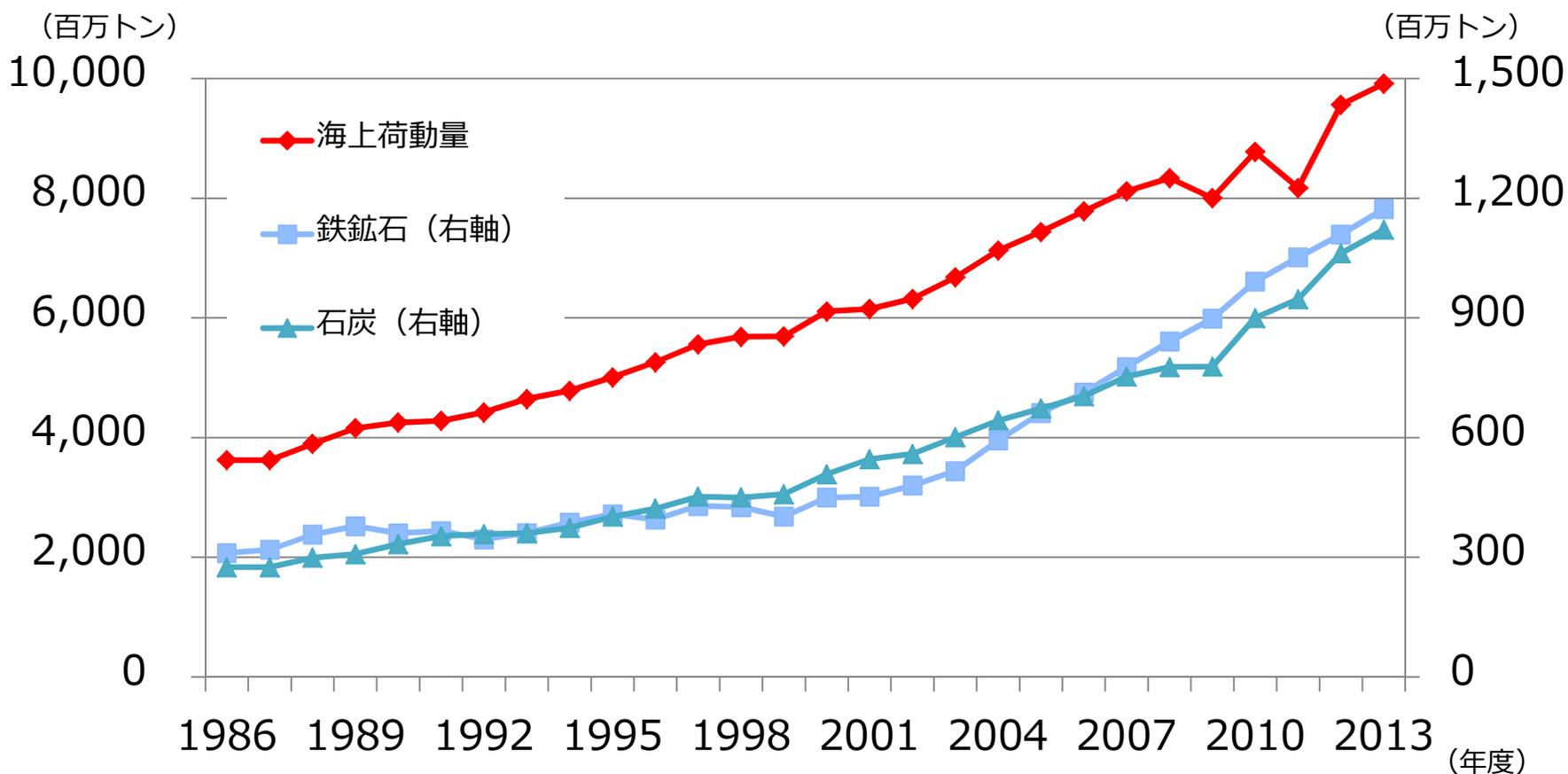
(注) 1. IHS(旧Lloyd's Register) 資料から作成。1967年までは進水量。1968年以降は竣工量。
2. 対象は100総トン以上の船舶。

出典：(社)日本造船工業会 「造船関係資料2014年3月」

新興国の経済成長により海上荷動量が伸長



世界の海上荷動量は、2013年度は1986年度比較で2.7倍
バルクキャリアーで運搬する鉄鉱石は3.7倍、石炭は4.0倍

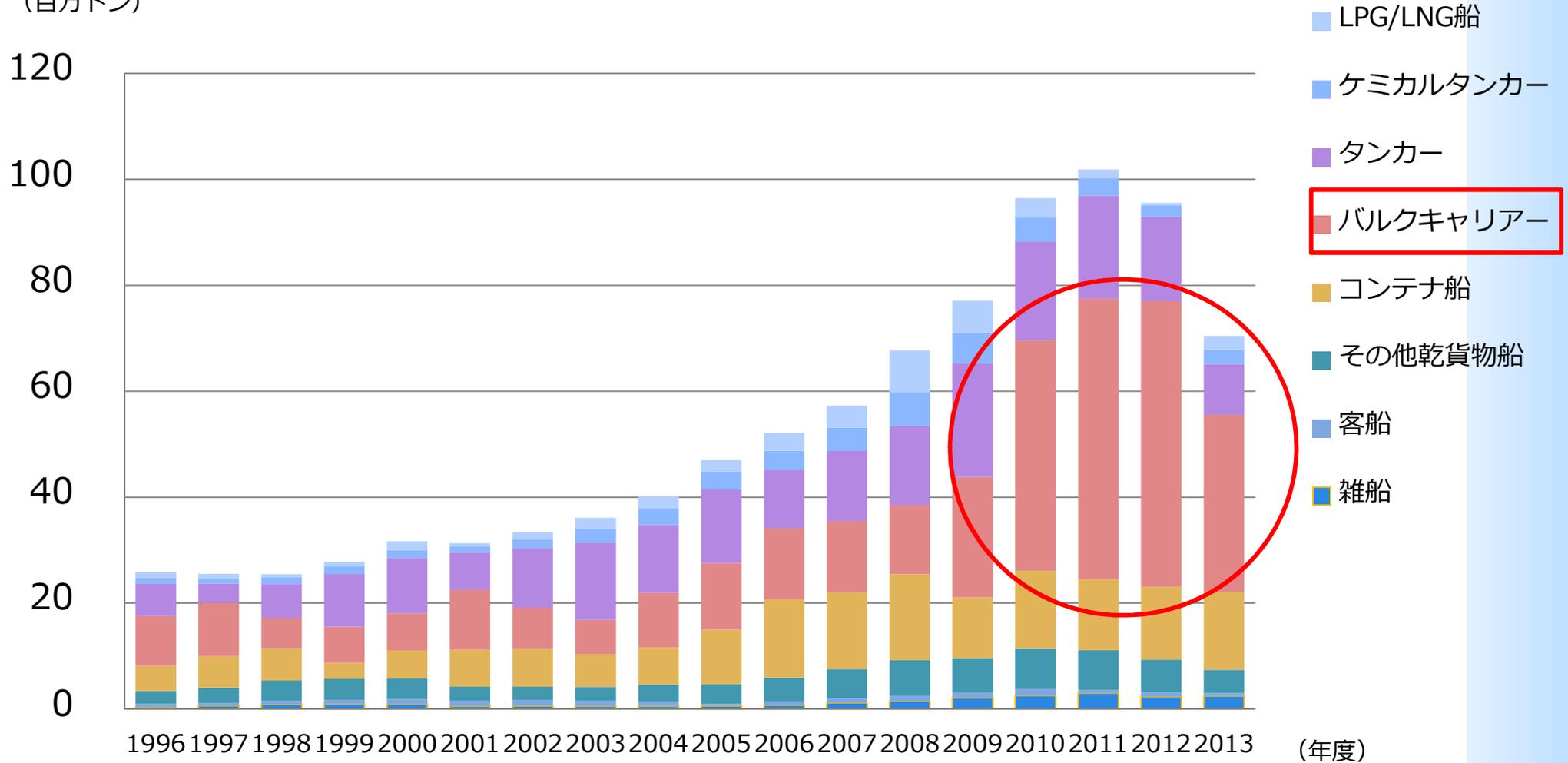


出典：(社)日本造船工業会「造船関係資料2014年3月」
※2012年度数値は推計値、2013年度数値は予想値



世界の船種別竣工量の半数はバルクキャリアーが占める

(百万トン)



(ご参考) 船種について



ばら積み船



チップ専用船



原油タンカー



LPG船



ケミカルタンカー



自動車専用船



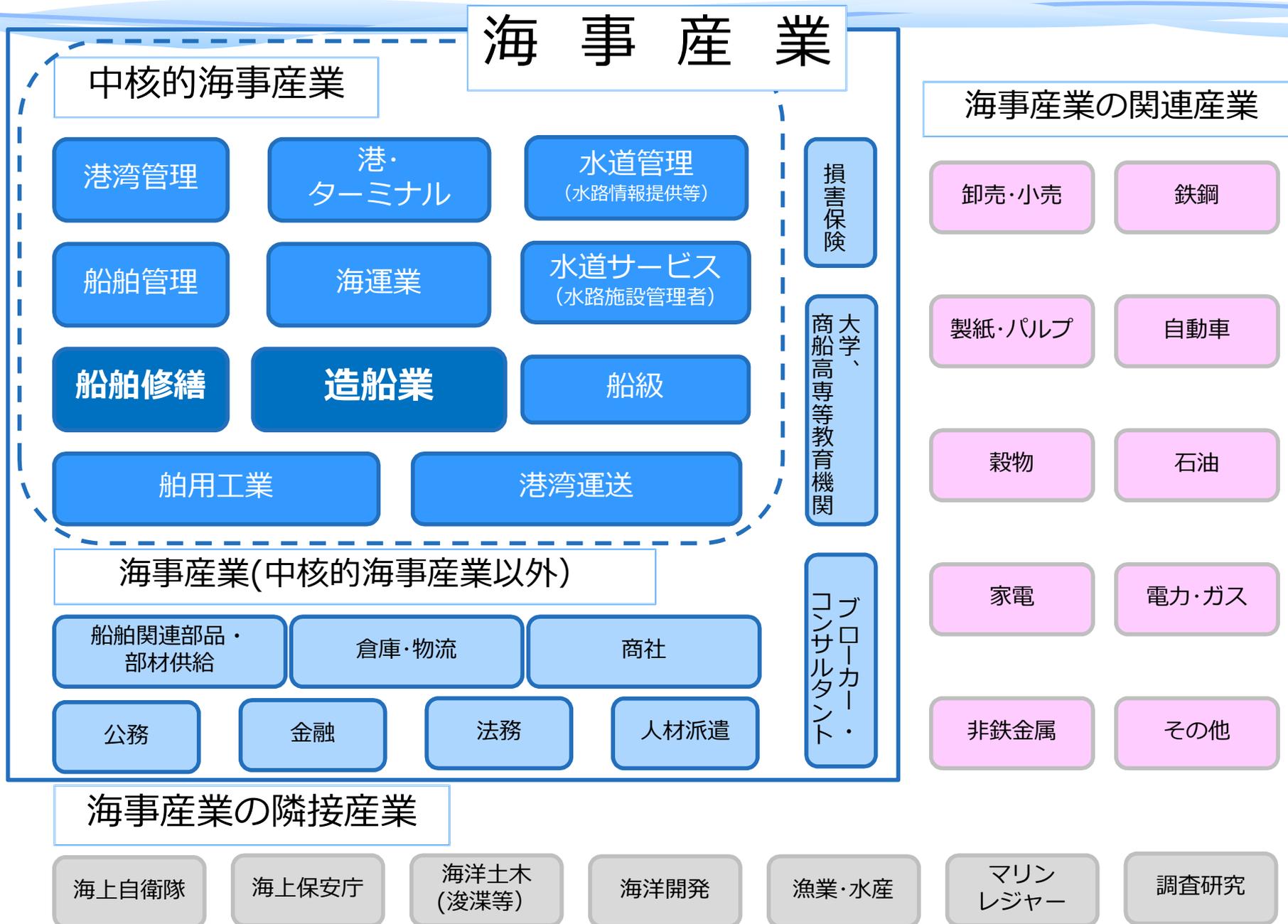
カーフェリー



コンテナ船

写真:サノヤス造船(株)の製造・修繕等による船舶
コンテナ船は一般社団法人日本船主協会HPより

日本における海事クラスター



船ができるまで



1.設計



4.ブロック組立



7.海上試運転



2.素材加工



5.艙装工事



8.完成・引渡し



3.部材組立



6.ブロック搭載





上場造船会社

	企業名	2013年度 売上高 (億円)	造船事業比率
1	三菱重工業	3兆3,495	15.0%
2	川崎重工業	1兆3,854	5.8%
3	I H I	1兆3,040	—
4	三井造船	6,701	56.3%
5	住友重機械工業	6,153	2.4%
6	名村造船所	1,245	87.8%
7	サノヤスホールディングス	467	69.6%
8	佐世保重工業	309	83.4%
9	内海造船	223	97.4%

出典：各社開示資料より当社作成

造船業界におけるポジション



造船工業会会員 会社別竣工実績表(2013年1-12月 GTベース)

	企業名	竣工量合計
1	ジャパンマリン ユナイテッド	2,616,446
2	今治造船	2,156,169
3	大島造船所	1,295,272
4	名村造船所	1,068,656
5	幸陽船渠	842,201
6	常石造船	731,264
7	三井造船	635,844
8	川崎重工業	562,449
9	新来島どっく	482,536
10	三菱重工業	459,763

	企業名	竣工量合計
11	佐世保重工業	342,127
12	サノヤス造船	330,788
13	住友重機械マリンエンジニア リング	251,089
14	尾道造船	229,089
15	新来島豊橋造船	209,815
16	函館どっく	99,552
17	内海造船	65,456

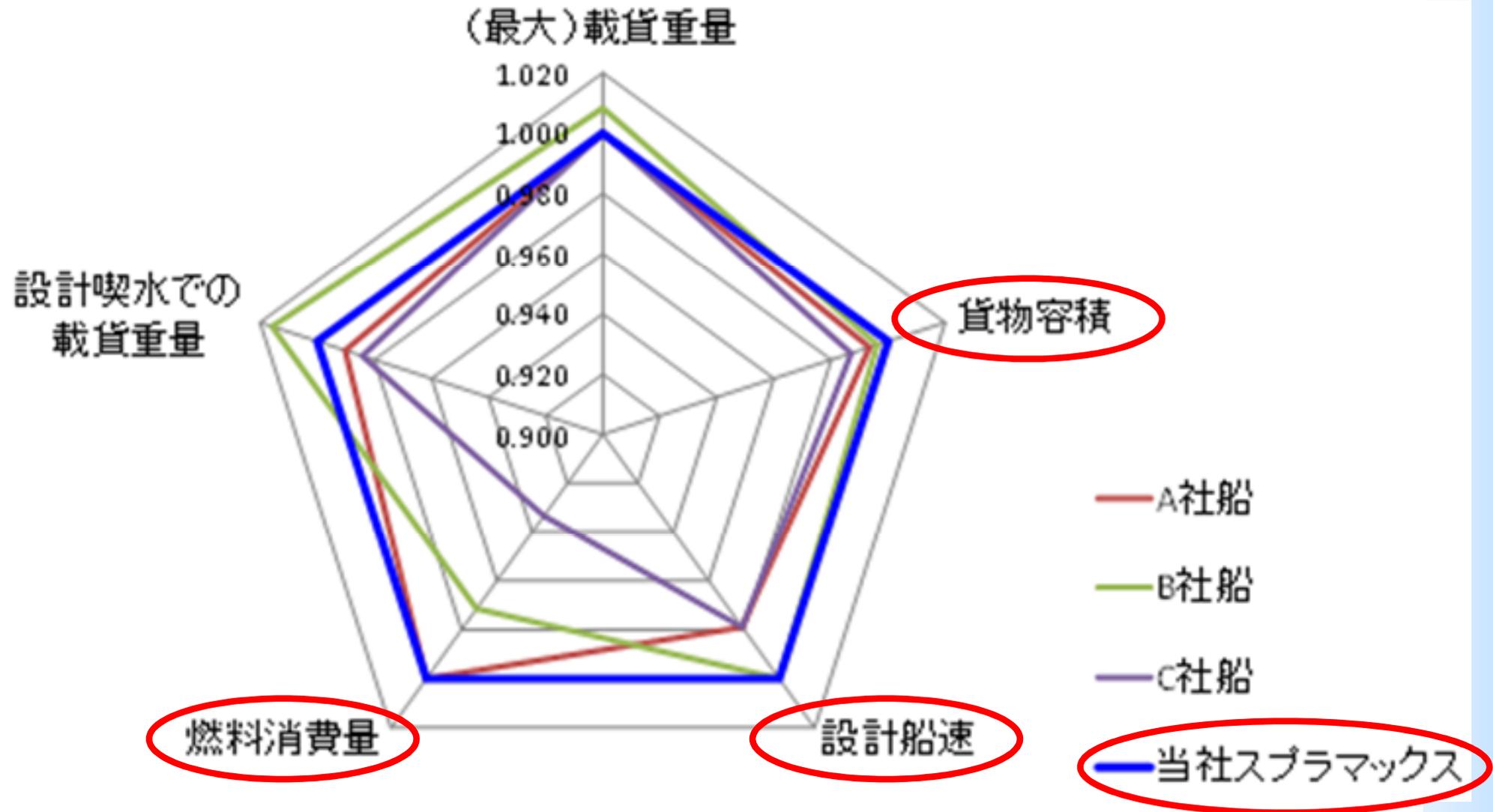
※対象船舶は500GT以上（艦艇・巡視艇・パージを除く）

※国内建造船のみを対象とする。（海外事業所を除く）

出典：日本造船工業会の開示資料より当社作成

技術力による差別化

当社開発船と国内他社のスプラマックス・バルクキャリアー(60BC)との比較



技術力による差別化



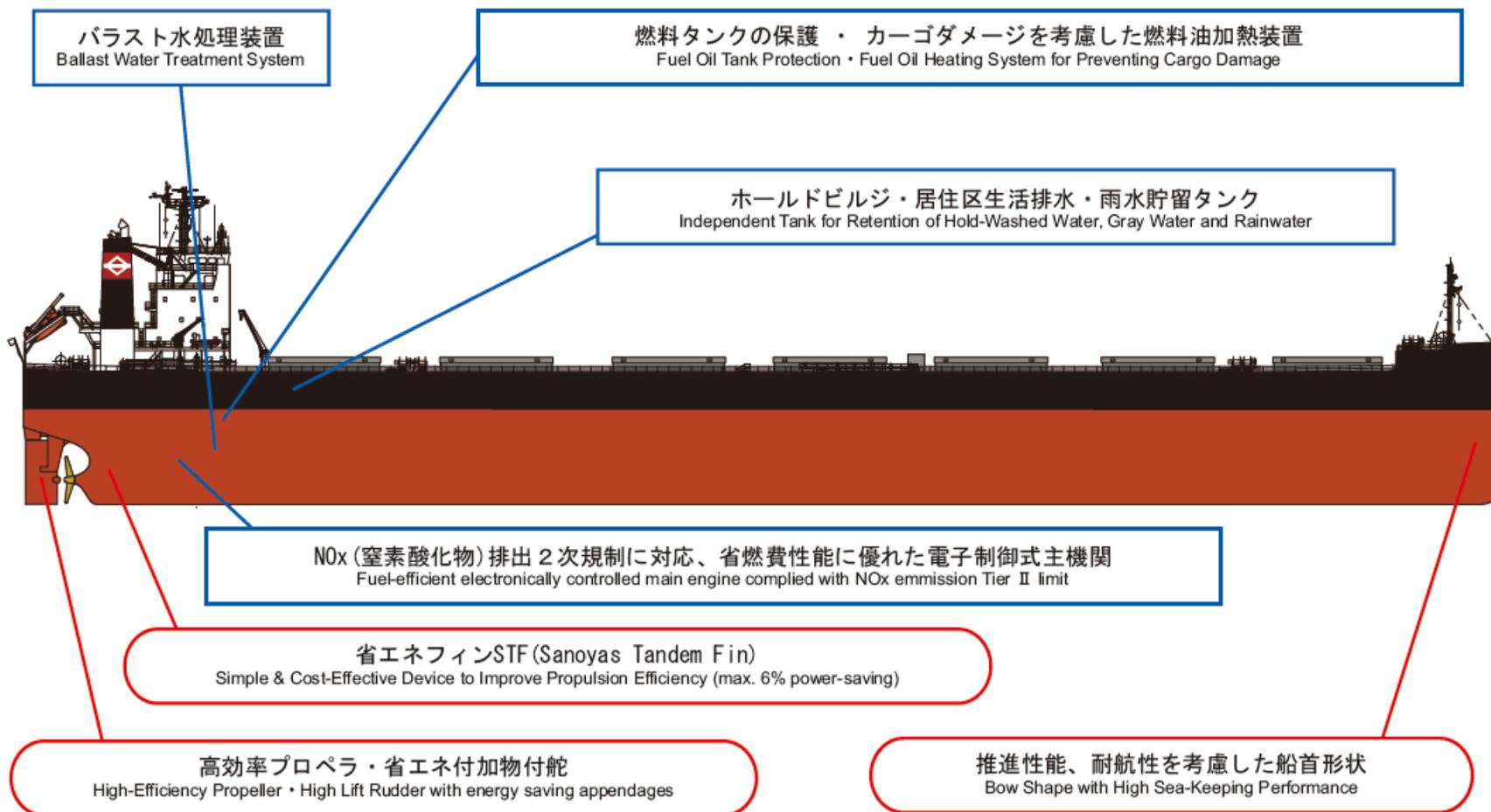
世界トップレベルの燃費性能・環境対応~パナマックス・バルクキャリアー(82BC)



環境対策
Eco-friendly features



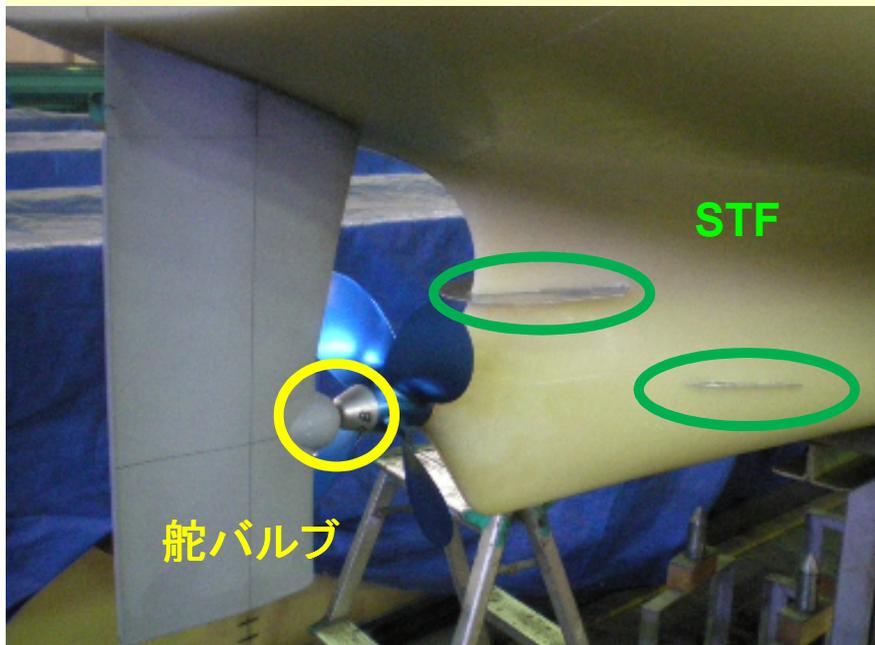
省エネ対策
Energy-saving features





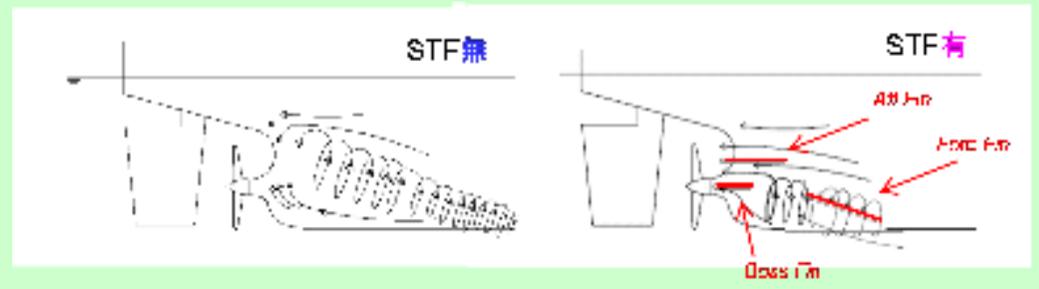
□舵バルブ

- 舵本体の前方の軸心高さに接合した半球状の突起物
- プロペラ面の流れが改善し推進効率向上



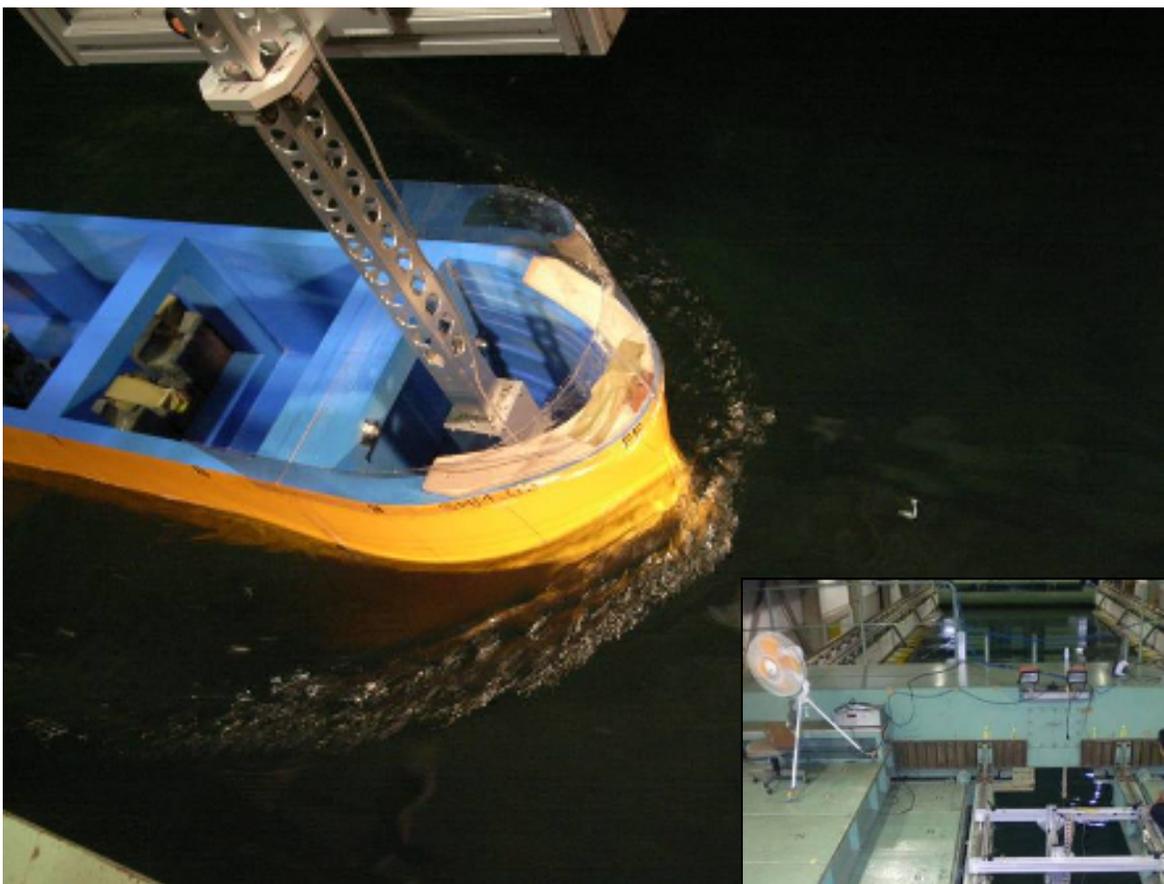
□STF (Sanoyas Tandem Fins)

- プロペラ前方に設置した単板構造の複数枚のフィン装置
(世界一簡便な省エネ装置、平成18年・24年に特許取得)
- 複数枚のフィンのコンビネーションにより、プロペラ効率向上と船体抵抗低減
 - ◆前部フィンが渦の発生を抑制
 - ◆後部フィンがプロペラ前の流れを整流



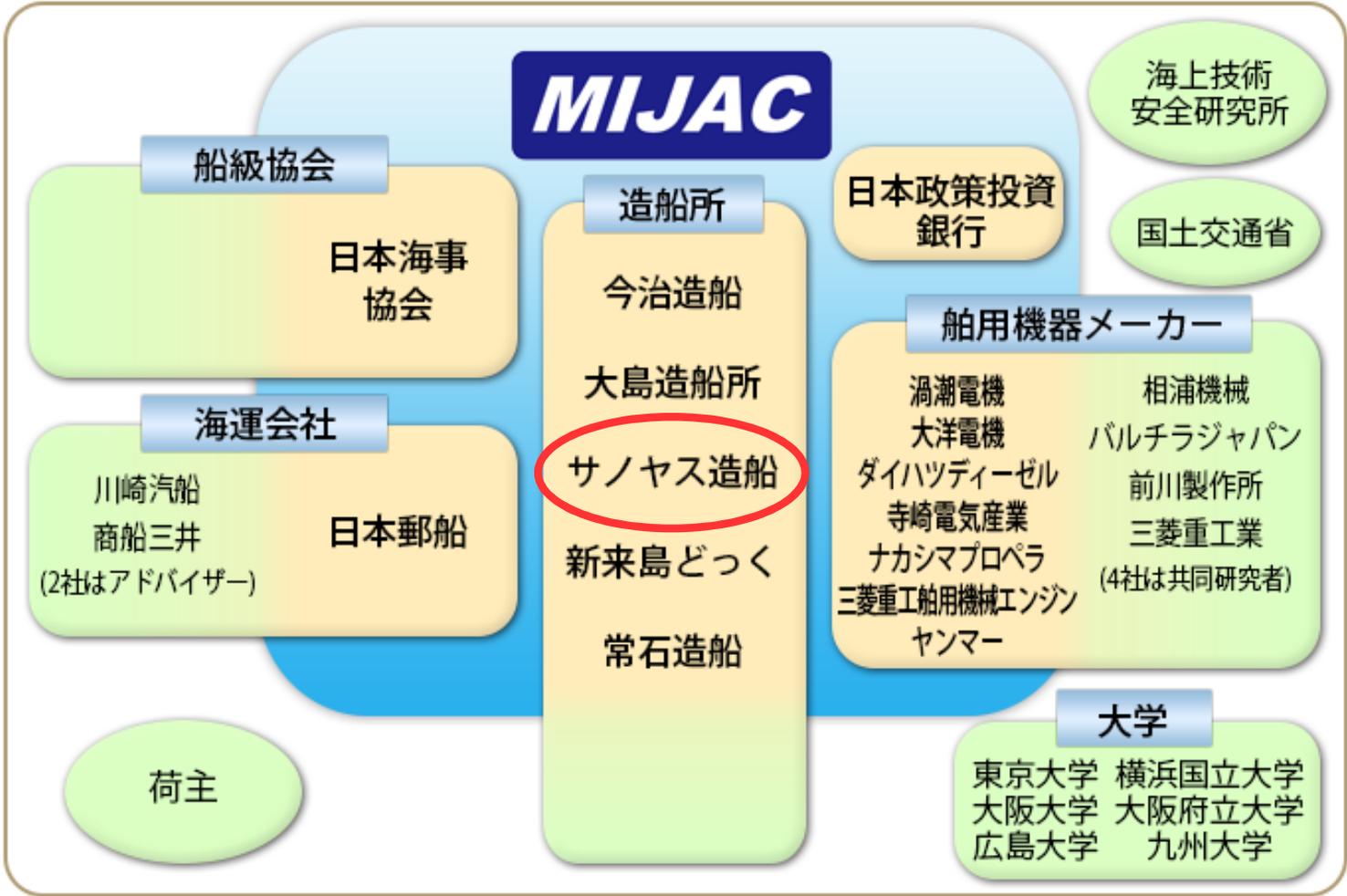


船体模型の水槽試験





オールジャパンの開発ネットワーク



出典：マリタイムイノベーションジャパンHPより



事業内容

- 建設工事用エレベーター製造・レンタル
- 機械式駐車装置製造・保守
- 機械部品製造
- 化粧品製造用機械製造
- 自動車部品製造
- 空調・給排水・環境工事

売上高推移





ピット昇降式駐車装置（地下2段・地上1段）



ピット昇降横行式駐車装置（地下2段・地上3段）

機械式駐車装置
設計・製造
メンテナンス

延べ設置実績

約100,000車

メンテナンス契約数

約70,000車

※上記数字には古河産機システムズ(株)より継承した実績を含みます。



真空乳化攪拌装置「VTU-1-650」

化粧品等の
開発・生産に
使用する攪拌機の
製造・販売

市場トップシェア



真空乳化装置750型、400型
※化粧品等の開発・生産に使用されます。



高層建築に使用する
工事用エレベーター
および
クレーンの製造・販売・レンタル

工事用エレベーターでは
全国シェアのトップ
揚重 2～3 t の大型クラスでは
約 80% のシェア を占め、
特に東京・大阪などの
大都市高層建設用では
多数の現場へ納入





東京スカイツリー®建設工事にも採用



2本構型工事用エレベーター「HCE-2000BS（特）」



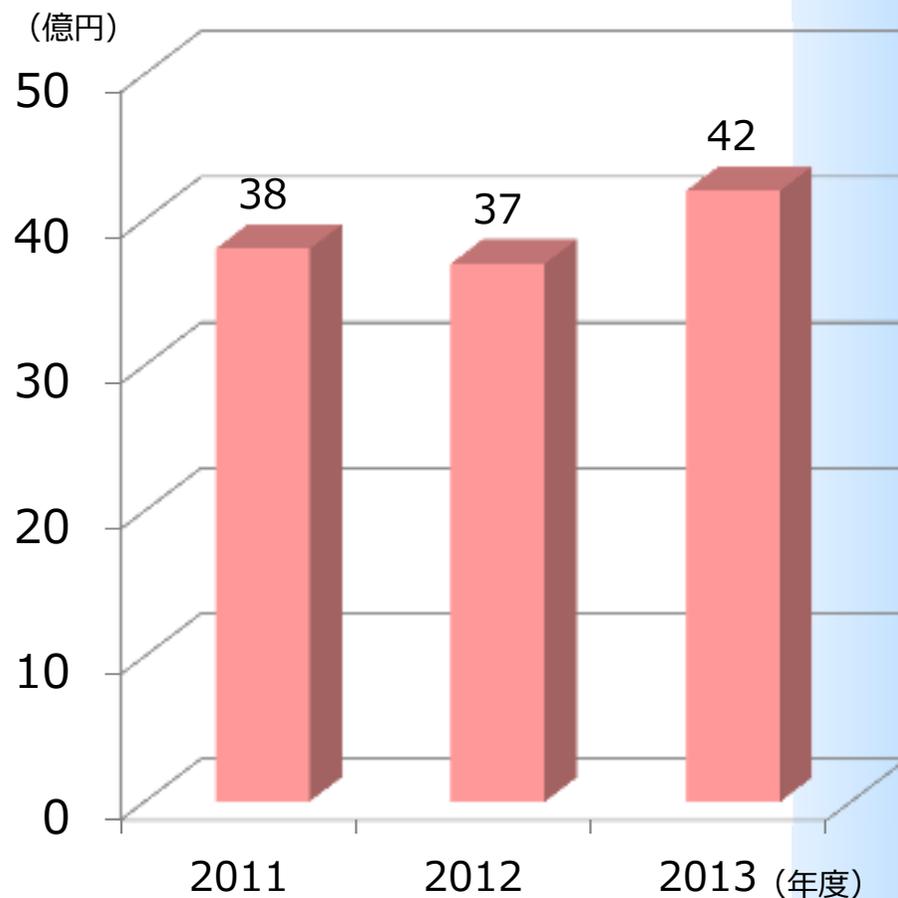
事業内容

- 遊園機械製造および遊園地運営



東京お台場パレットタウン観覧車

売上高推移





東武動物公園「カエル・ランドリー」



熊本市動植物園
「どんぐりティーカップ」



富士急ハイランド
「ええじゃないか」



大阪梅田のランドマーク
HEP FIVE観覧車

メルボルン・スター運営事業開始



2013年12月23日
オーストラリア メルボルン市の
大観覧車「メルボルン・スター」
営業運転開始。

南半球最大の観覧車

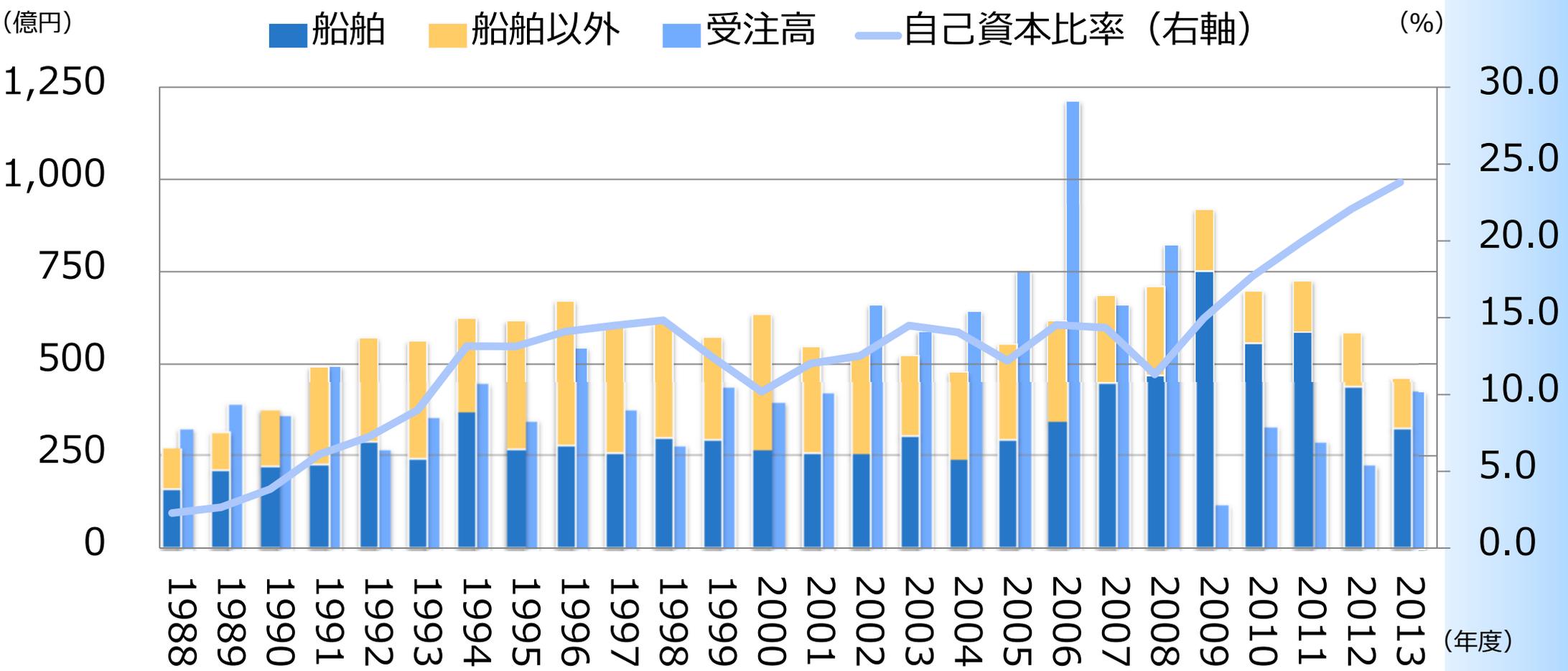
高さ 117.55m
直径 110m



キャビンは全21台
(1台20人乗り)

<http://www.melbournestar.com/>

売上高の推移



(注) 1988 - 1990年度は (株)サノヤスの数値
 1991 - 2010年度は (株)サノヤス・ヒシノ明昌の数値

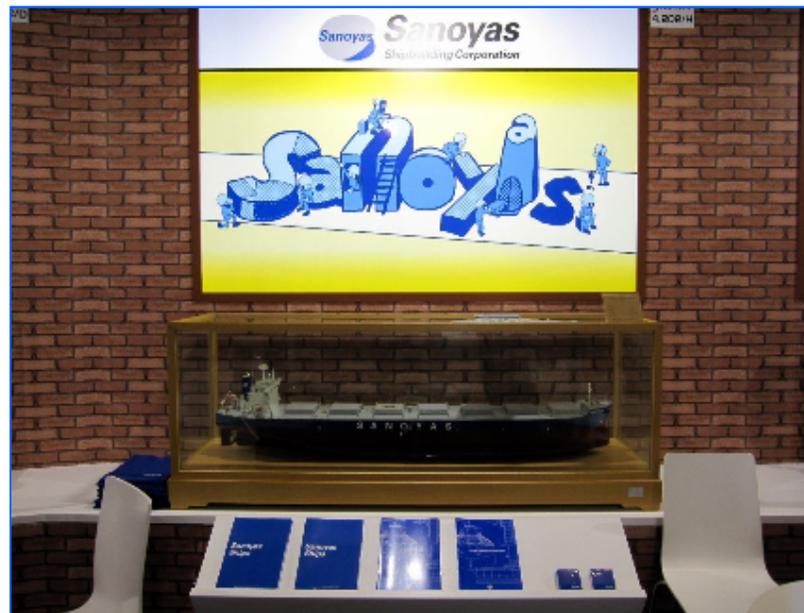


キーワード

- 「技術力」 ・ 「現場力」 ・ 「コストダウン」

2014年度の方針

- ポストパナマックス船の開発を推進
- 既存船のブラッシュアップ（さらなる省エネ技術の開発）
- 3年分の受注確保に注力（新造船受注残24隻）



2014年6月2日～6日にアテネで開催された国際海事展「Posidonia2014」



- 民間設備投資の回復への的確に対応し、積極的な受注活動に取り組む
- M & A を含む新規事業への挑戦

2014年度の方針

- サノヤス・エンジニアリング(株)が、買収した古河産機システムズ(株)の立体駐車装置のアフターサービス事業を拡大
- 加藤精機(株)が開始した太陽光発電事業の推進



地上昇降横行式駐車装置



太陽光発電所（兵庫県多可町）

- 顧客ニーズに対応した営業活動に努め新製品開発・新規市場開拓に取り組む

2014年度の方針

- メルボルン観覧車運営事業は、オーストラリア内はもとより、アジア地域へのマーケティングを強化していくことにより、収益拡大を目指す



ライトアップしたメルボルン・スター



オープニングセレモニー(中央はビクトリア州副知事)



2014年4月に社長直轄で「経営革新プロジェクトチーム」を発足。造船、陸上、レジャーの事業会社を含め各部門の部長クラスをプロジェクトメンバーに任命。





2014年度の期末配当につきましては、企業体質強化に努めながら、業績に対応し安定した配当を維持、継続するとの基本方針の下、一株当たり5円を予定しています。

(百万円)

< 連結業績 >	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度 (予想)
売上高	73,023	59,027	46,696	47,500
経常利益	7,727	4,372	3,402	1,000
当期純利益	1,236	426	970	500
一株当たり 当期純利益	37.9円	13.1円	29.8円	15.4円
一株当たり 配当金	5円	5円	5円	5円

(注) 2014年度の数値は2014年5月9日発表時点における計画値です。

株価推移動向



将来見通しに関する注意事項

本資料は情報提供を目的として作成されており、投資勧誘など何らかの行動を勧誘する目的としたものではありません。

本資料には、当社（連結子会社含む）の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれておりますが、当社が現時点で入手可能な情報に基づく判断および仮定に基づいており、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化により、実際の業績または展開と一致しない可能性があります。

投資に関するご決定は、ご自身の判断にて行われるようお願いいたします。

本資料に掲載している業績、目標などの将来に関する記述に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

お問い合わせ先：サノヤスホールディングス株式会社 総務部

電話番号：06-4803-6161(代)